

スイング式アンカーボルト工法で台直しゼロの適正設置

もちろん、これらは手前の1本に総て重なって見えます。更に基礎天端には柱芯から30mmの逃げ芯と柱交点の墨出しがしてあり、誰にでも簡単に全アンカーボルトの位置測定が出来ます。建て主と業者により台直しゼロが確認された現場は信頼関係が一段と高まります。

